

3 行政視察

プログラム

時 間	内 容
9 : 00	北九州市へ向け、ホテル出発
	福岡都市高速、九州縦貫道、北九州都市高速経由
10 : 15	交通科学館着 [北九州市小倉南区企救丘 ^{きくがおか}] 《モノレールに関する説明》 《交通科学館視察》
11 : 30	モノレール乗車 (企救丘駅→ ^{たんが} 巨過駅)
12 : 00	巨過駅着
	昼 食
13 : 00	昼食会場発
13 : 40	スペースワールド着 《スペースワールド概要説明、視察》
16 : 00	スペースワールド発
16 : 45	小倉駅着
17 : 00	新幹線乗車 (小倉駅→博多駅)
17 : 20	博多駅着、地下鉄乗車 (博多駅→天神駅)
17 : 40	天神駅着
18 : 00	ホテル帰着

4 参加者名簿

アンダーライン部が姓 (ファミリーネーム)

都 市 名	役 職	氏 名
オークランド市 (ニュージーランド) Auckland (New Zealand)	交通計画課長 Manager, Transportation Planning	ロス ラザフォード Mr. Ross <u>Rutherford</u>
	交通計画上級職員 (係長級) Senior Transportation Planning	ディニス メンダー Mr. Denis <u>Mander</u>
バンコク市 (タイ王国) Bangkok (Kingdom of Thailand)	運輸交通局長代理 Deputy Director General, Department of Traffic and Transportation	ブーニャワット ティプタス Mr. Boonyawat <u>Tiptus</u>
	運輸交通局道路運輸部長 Director of Road Traffic Division, Department of Traffic and Transportation	スラポール ワッタナヴィジャン Mr. Surapol <u>Wattanavijarn</u>
福岡市 (日本国) Fukuoka (Japan)	Deputy Executive Director, Urban Planning & Development Bureau 都市整備局次長	Mr. Yoshiya <u>Yamashita</u> やました よしや 山下 善也
	Chief, Transportation Planning Section 交通計画課長	Mr. Shigetaka <u>Nose</u> の せ し げ た か 野 瀬 繁 隆
	Assistant Chief, Transportation Planning Section 交通対策係長	Mr. Kiyohiko <u>Mukuno</u> むく の きよ ひこ 椋 野 清 彦
広州市 (中華人民共和国) Guangzhou (People's Republic of China)	Secretary-General 秘書長	チェン ジーシュエン Mr. <u>Chen</u> Ji Xuan 陳 紀 萱
	Public Security Bureau, Vice Director 公安局副局長	ジャン ドーミン Mr. <u>Zhang</u> De Ming 張 徳 明
ホーチミン市 (ベトナム社会主義共和国) Ho Chi Minh (Socialist Republic of Viet Nam)	交通土木局部長 Deputy Director, Department of Transportation and Public Works	ハ ヴァン チュング Mr. <u>Ha</u> Van Dung
	第一建築部資本投資課長 (海外関係担当) Head of Foreign Relations-Investment Division-HCMC Chief Architect Bureau	ホ クアン トアン Mr. <u>Ho</u> Quang Toan
香港 Hong Kong	総運輸主任 Chief Transport Officer	フン トゥン チュン ルイス Mr. <u>Hung</u> Tung Chun, Louis 洪 同 震
	総技師 Chief Engineer	ライ フukkan ジョージ Mr. <u>Lai</u> Fuk Kan, George 黎 福 根

都 市 名	役 職	氏 名
イポー市 (マレーシア) Ipoh (Malaysia)	事務総長 Secretary	ロクマン ハキン ビン モハメッド ジャサン Mr. Lokman Hakim bin Mohd. Jasan
	技師 Engineer	バドラル ヒッシュャム ビン カマルディン Mr. Badrul Hisham b. Kamaruddin
ジャカルタ特別市 (インドネシア共和国) Jakarta (Republic of Indonesia)	南ジャカルタ市道路交通運輸第2部部长 Head of Road Traffic and Transportation Sub-Department, South Jakarta Municipal Admini.	ブーブング ブーハナ Mr. Bubung Burhana
鹿児島市 (日本国) Kagoshima (Japan)	Chief of Water Front Development Section 建築局都市計画部ウォーターフロント開発課長	Mr. Hideo <u>Mori</u> もり ひで お 森 英 夫
	Chief of Sub Section of City Planning Section 建築局都市計画部都市計画課街路係長	Mr. Masahumi <u>Kamagasaki</u> かまがさこ まさ ふみ 鎌ヶ迫 正文
北九州市 (日本国) Kitakyusyu (Japan)	Director of Planning Department 計画部長	Mr. Teruhide <u>Shinozaki</u> しの ぎき てる ひで 篠 崎 照 秀
	Manager of Transportation Planning Section 交通計画課長	Mr. Harutaka <u>Umemoto</u> うめ もと はる たか 梅 本 治 孝
クアラルンプール市 (マレーシア) Kuala Lumpur (Malaysia)	都市交通運輸局交通運輸技師 Transportation Engineer, Urban Transportation Department	レオン シームン Mr. <u>Leong</u> Siew Mun 梁 紹 文
	交通管理土木局上級交通技師 Senior Traffic Engineer, Traffic Management and Public Works Department	サブデン モハマド サリ Mr. Sabudin Mohd Salleh 沙 布 丁
熊本市 (日本国) Kumamoto (Japan)	Director, Traffic Planning Section, Planning Department 交通企画課長	Mr. Masanori <u>Kitamura</u> きた むら まさ のり 北 村 政 典
	Director, User Service Section Kumamoto City Transit Service 交通局営業課長	Mr. Takashi <u>Osawa</u> おお さわ たかし 大 澤 隆
宮崎市 (日本国) Miyazaki (Japan)	Division Chief, Urban Planning Division 都市計画公園課長	Mr. Kazuhiro <u>Taniguchi</u> たに ぐち かず ひろ 谷 口 和 弘
	Assistant Chief, Urban Planning Division 都市計画公園課工務係長	Mr. Takaharu <u>Imamura</u> いま むら たか はる 今 村 隆 治

都 市 名	役 職	氏 名
長 崎 市 (日本国) Nagasaki (Japan)	Director, City Planning Department 都市計画部長	Mr. Akio <u>Sakamoto</u> さか もと あき お 坂 本 昭 雄
	Chief, Traffic Measures Section 交通対策課長	Mr. Toshio <u>Matsui</u> まつ い とし お 松 井 俊 男
那 覇 市 (日本国) Naha (Japan)	The head of the City Planning Department 都市計画部長	Mr. Akira <u>Takamine</u> たか みね あきら 高 嶺 晃
大 分 市 (日本国) Oita (Japan)	Director, City Planning Department 都市計画部長	Mr. Hisao <u>Shimooka</u> しも おか ひさ お 下 岡 久 男
	Assistant Director, City Planning Department Director, City Planning Division 都市計画部次長兼都市計画課長	Mr. Tamotsu <u>Kikuya</u> きく や たもつ 菊 屋 保
釜山広域市 (大韓民国) Pusan (Republic of Korea)	Director of Transportation Planning Division 交通企画課長	ホン ワン シック Mr. <u>Hong Wan-Shik</u> 洪 完 植
	Senior Researcher 交通政策研究室 研究部長	チェ チ グック Mr. <u>Choi Chi-Gook</u> 崔 治 國
佐 賀 市 (日本国) Saga (Japan)	Director of Construction Department 建設部長	Mr. Syuji <u>Hashidomi</u> はし どもしゅう じ 橋 富 修 治
	Planning Section Manager 総務部企画課長	Mr. Hisashi <u>Moriki</u> もり き ひさし 森 木 久
上 海 市 (中華人民共和国) Shanghai (People's Rep- ublic of China)	Deputy Secretary General, Shanghai Municipal Construction Commission 建設委員会副秘書長	シー ユイ シュエ Ms. <u>Shi Yu Xue</u> 史 玉 雪
	Vice Director of Traffic Police General Brigade of Shanghai Public Security Bureau 公安局交通警察総隊副総隊長	ソン ウエイ クオ Mr. <u>Song Wei Guo</u> 宋 衛 国
シンガポール Singapore	基盤施設部係長 (交通技師) 1 Assistant Chief, Transportation Engineer, Infrastructure Division	ラム チェン フォング Mr. <u>Lam Chuen Fong</u>
	国土開発計画部課長 2 Assistant Director, Strategic Planning Division	ツォイ マン チィ メイビス Ms. <u>Tsoi Man Chee, Mavis</u>

5 参加者数

(人)

内 訳	会議出席者	来 賓	一般市民	市関係者	計
会 議	42	1	21	32	96
行 政 視 察	33	0	0	23	56
歓 迎 レ セ プ シ ョ ン	42	6	0	52	100

※ 市民も傍聴できるように一般公募を行った。

「都市交通」をテーマに

都市交通問題をテーマに10カ国・地域から20都市が参加して福岡市のホテルで26日開かれた「アジア太平洋都市サミット」実務者会議は、5都市から報告された都市交通の課題や対策をめぐり、活発な議論を繰り広げた。事例発表では、慢性的な交通渋滞など共通の課題や悩みをあらためて浮き彫りにするとともに、国柄や地域性を反映した具体的な取り組みが紹介された。会議の成果は来年、広州市で開く都市サミットで報告する。参加者たちは27日、福岡市と北九州市の交通機関を視察する。

「アジア太平洋都市サミット」実務者会議



実務者会議が交わされた実務者会議

「慢性的渋滞」浮き彫り 自転車の「洪水」解消も

実務者会議では、五都市の事例発表に対し、参加各都市が質問するなど熱心なやり取りが続いた。

長崎市の担当者、明夕のラッシュ緩和のために釜山が導入しているマイカーの相乗り運動について「夕方退社時間に行つてきがあるの効率が悪いのではないかと」質問。釜山側は「確かにそういう側面はあるが、三人以上相乗りする場合は高波道路の通行料金を免除するなど、優遇措置を取っており、定着を図りたい」と答えた。

広州市の都心部のトラック規制については福岡市が「都市機能の維持に障害はないか」と問い、広州市の担当者は「食料などの必需品の運送については許可証を発行しているが、都市の発展への影響は全くな」と指摘した。

また、広州市は自転車車を減らす政策を取っている

が、二シーランド・オークランド市が「環境面で優れた自転車車をなぜ制限するのか分からない」と疑問を表明。これに対し、広州側の「ノーマイカー」の取り組みについて「守った人に具体的なメリットを与える方策を取るのが分からない」と疑問を表明。これに対し、広州側の「ノーマイカー」の取り組みについて「守った人に具体的なメリットを与える方策を取るのが分からない」と疑問を表明。これに対し、広州側の「ノーマイカー」の取り組みについて「守った人に具体的なメリットを与える方策を取るのが分からない」と疑問を表明。

道路通行料金制を導入

シンガポール基礎施設部 滞の場所や時間に応じた車の通行制限を、効果的にできることになる。

ラム・チエン・フォン氏 都心部への市民の移動の使用料を徴収する制度を、お早く導入し、渋滞緩和をかなり実現できた。また、現行方法は設備を備えた人口密度の手作業で、制度の拡大に限りがある。そのための制度整備、都心部に通勤的な完全自動化システムを三年後に導入する計画だ。これが実現すれば、渋滞の場所や時間に



シンガポールの基礎施設部 滞の場所や時間に

駐輪場設置を義務付け

中国・広州市公安局副局長 張 徳明氏 自転車は優れた乗り物だが、市内の総台数は三三二酸化や排ガスによる環境汚染が深刻だ。駐輪場対策として例えは、ナンバープレートの未位の数字の偶数、奇数によって市内のトラックが都心部を通行しては、面積が足りない。トラックは早朝から夕方まで都心部への乗り入れを禁止した。



中国・広州市公安局副局長 張 徳明氏

車の相乗り運動を推進

韓国・釜山市交通企画課長 洪 完植氏 毎年、車が六万五千台ずつ増加。釜山港からのコンテナ車の流入が、交通渋滞に拍車をかけている。

このため、混雑緩和策の一として昨年から始めたのが、その日の日付の下二けたが同じナンバーの車を同一車道に運行を制限する運動。進んでいる。



韓国・釜山市交通企画課長 洪 完植氏

都市モノレール建設へ

那覇市都市計画部長 高嶺 晃氏 那覇市の陸上交通の特徴は、軌道システムがなく、自動車を運ぶだけ依存している。加えて、巨大な軍用地が都市計画の障害になり、交通渋滞が慢性化している。バスは四社が同じ路線を競合し、ますます渋滞がひどく、回りのマイカーに比べて、利用者の信頼を失え、時差出勤も検討中だ。



那覇市都市計画部長 高嶺 晃氏

共同配送をシステム化

福岡市交通計画課長 野瀬繁隆氏 慢性的な都心の交通混雑が巡回指導を実施している。各運送会社の配送品を共同で集荷、配達する共同配送システムにも取り組んでいる。今夏はヌーメ福岡運動と名付け、交差点付近のタクシーの乗り降りの指導強化を進めたい。



福岡市交通計画課長 野瀬繁隆氏

偶数、奇数によって市内のトラックが都心部を通行しては、面積が足りない。トラックは早朝から夕方まで都心部への乗り入れを禁止した。

このため、混雑緩和策の一として昨年から始めたのが、その日の日付の下二けたが同じナンバーの車を同一車道に運行を制限する運動。進んでいる。

那覇市の陸上交通の特徴は、軌道システムがなく、自動車を運ぶだけ依存している。加えて、巨大な軍用地が都市計画の障害になり、交通渋滞が慢性化している。バスは四社が同じ路線を競合し、ますます渋滞がひどく、回りのマイカーに比べて、利用者の信頼を失え、時差出勤も検討中だ。

慢性的な都心の交通混雑が巡回指導を実施している。各運送会社の配送品を共同で集荷、配達する共同配送システムにも取り組んでいる。今夏はヌーメ福岡運動と名付け、交差点付近のタクシーの乗り降りの指導強化を進めたい。

交通問題の深刻化と対策発表

福岡でアジア太平洋都市サミット・実務者会議



深刻な交通問題を論議するアジア太平洋各都市の実務者

中国
広州
シンガ
ポール
車の所有制限を実施
16年間で車台数15倍

アジアと九州の二十一都府で、公共交通機関の発達を市の交通問題担当者による「報告。那覇市は都市モノレールの導入やバスレーンのカラー舗装化、バス停のグレイで開かれた。昨年、福岡市で初めて開催された。

同サミットの実務者レベルの集まり。各地で交通問題が深刻化しているだけに、出席者は各都市が発する計画や二〇〇二年のアジ表する現状と対策に熱心に耳を傾け、質問も相次いだ。

参加したのは海外から十か国・地域の十二都市と九州・沖縄の県庁所在地、政令市の九都市で、広州（中国）、那覇、釜山（韓国）、シンガポール、福岡の五都市が事例発表した。

車の台数が一九七九年当時の十五倍に膨れ上がった。広州市は「税金の減免や通行制限の緩和などの政策を

小倉南区の交通科学博物館を見学した後、都市モノレール、新幹線、地下鉄を利用して福岡市へ戻る。

アジア太平洋都市サミット

交通混雑解消で論議

福岡市で実務者会議

福岡市など東アジアを中心とした都市による「アジア太平洋都市サミット」の交通問題実務者会議が二十六日、同市で開かれた。十カ国・地域の二十都市の担当者が参加し、共通の課題となっている交通混雑の解消について、各都市の対応策を基に意見を交わした。

会議のテーマは「都市における交通マネージメント」。福岡市は実例報告で、毎月十四日のノーマイカーデーの設定や、天神地区での共同集配システムなどの取り組みを紹介。同市を含めて五つの都市が報告したが、海外の都市の独自の規制措置が目を引いた。

報告によると、自動車とバイクが増えている広州市は、市街地の混雑がひどく、車の平均速度は一八キロにも満たない。ノロノロ運転という。排ガスによる大気汚染も深刻化。同市は、バイクのナンバープレートの発行制限や公共交通機関への利用誘導策を展開している。

市街地への車の乗り入れを許可制にしているシンガポールは、定期バスと特殊サービス車をのぞく車に許可書の提示を義務づけ、混雑緩和に効果をあげてきた。最近、バイク外運転制度を導入、登録車の所有者への減税措置を打ち出している。

会議を総括して福岡市都市整備局長の山下善也局長が「会議の成果を各都市の交通問題改善に役立てていただきたい」と要望した。

共通する交通渋滞解決へ 5市が事例報告

福岡市で実務者会議

アジア太平洋都市サミット

福岡市をはじめアジア・太平洋地域の二十一都市が参加する「アジア太平洋都市サミット」の交通問題実務者会議が二十六日、中央区のホテルで開かれた。共通する交通渋滞の解決策を話し合うのが目的で、福岡、那覇、広州（中国）、釜山（韓国）、シンガポールの五市が事例報告。活発な意見交換が行われた。このうち、海外三都市の取り組みを紹介する。

【広州】二年前から中心部への貨物トラックの通行規制を実施。市外のトラックは午前七時から午後七時まで乗り入れ禁止。市内のトラックも車両ナンバーの末尾の数字の偶数・奇数によって通行できる日を決めていた。違反者は免許没収。また、年間四万台以上増えているバイクを抑制するため、ナンバープレートの発行を毎月五百台以内制限。このほか、自転車は二百二十万台あって一部で通行規制を実施している。

【釜山】渋滞の原因となるバイク一通勤の車を減らすため、地域や各職場に「相乗り」を奨励。一台に三人以上相乗りしたら道路通行料を免除したり、公道駐車場料金を半額にするなどの優遇策を取っている。ただし「乗りは飲みに行く会社員もいるのであまりよくない」と交通担当者。

【シンガポール】混雑のひどい時間帯に都心部へ乗り入れる車から「道路通行料」を徴収し、車両の流入を抑制している。現在はドライバーが事前に乗り入れ許可書を購入する仕組みだが、コンピュータやフリーペイドカードを使い通行時に料金を自動的に引き落とす新システムを開発中で、九七年末に実用化させる計画だ。



活発な意見が相次いだアジア太平洋都市サミットの交通問題実務者会議